

療術院ストーリー

頭痛、肩こり、椎間板ヘルニア…痛みと戦った20代

「痛っ、朝か～」 朝の頭痛と腰から足の神経痛。20代後半から数年、私が悩まされていた症状です。医療機器メーカーに勤めていたので得意先の治療院などで診て頂いたのですが良くなりませんでした…
そんな時知人の紹介で師匠に出会うのです。

頭が軽い(中身…?ではありませんよ(^_^))

「なんでこんな所が痛いの？」患部以外でも痛い施術…
問題は患部だけではないと知りました。師曰く
「痛みは悪い所(原因)からのサイン」なのです。
施術を受けた2日後の朝、起きた時に頭が軽い♪
「体ってこんなに軽いんだ!!」と感動したのです。



↑少し?個人的な師匠です

楽になる♪ この感動を伝えたい!

“東洋医学”を実践している師匠に感激し「これだっ!」と思い弟子入りを志願。陽気でカッコ良い兄貴であり“自分が楽になった感動を伝えたい”という思いから開業を決意。秩父高校を卒業後、神奈川大学から就職と約10年間、神奈川県で過ごしてきました。外へ出て気付いた地元への愛着と、父が体調を崩したこともあり実家で開業する事を決めました。

「良くなったよ!」その一言の為に

2000年の開業と同じ年に誕生した長男も14歳、早いもので開業して15年目を迎える事が出来ました。皆様の笑顔と「良くなったよ!」の一言が私を支えるエネルギーになっています!!



全国の仲間と共に

2004年に師と共に整体師の団体「手技療術指導協会」を設立、専務理事という大役を任せられました。2009年から当院で整体を教える「伝統療術学院 長瀬校」をスタート! 「地域一番の施術院」と共に「健康の輪を広げる、人を育てる」という新たな目標が出来ました。自らの体験を活かし「痛みの分かる整体師」として日々精進してまいります。末永くよろしく願いいたします。

私自身、整体やマッサージを受けるのが大好きです♪ 小学6年生の時に心臓の手術(心房中隔欠損症)を受けて以来、疲れると肩こりと頭痛が出るようになりました。身体って不思議ですね。ツラさが分かるからこそポイントもわかる(はず)。好きこそものの…とよく言いますが、これが天職と信じ、生徒や仲間と共に成長していきます♪ どうぞ末永くご愛顧頂けますよう よろしく願いします。

浅見整体療術院 院長 浅見まさひで 



青空(そら) 15歳
優心(ゆうみ) 7歳

青空のようにおおらかに、晴れやかに
優しい心で育ててほしい
という願いを込めて・・・

社交的な? 2人は皆様に挨拶をしたり、家の中を走り回る音や、時には大きな声が聞こえるかもしれません・・・大目に見て下さいね。

時には漕いだり 走ったり

見かけた時はクラクションだとビックリ
するから、代わりに笑顔を下さい(^_^)



院長 浅見 まさひで

1971年11月30日生 0型

《趣味》 体を動かす事、自転車

《2016年の目標》 チャレンジ!

・空手!

・マラソンに再挑戦?

《尊敬する人》 イチロー

《当院のルール?》

電車が通過中は話をしない

(聞こえないほど音が

うるさいので・・・(^_^);)

・内閣府認証NPO法人

手技療術指導協会 専務理事

・日本伝統療術学院長瀬校 学院長